

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名		買物支援事業		事業区分			担当	
				新規/継続	単独/補助	継続	単独	事務事業No. 010602001050
政策体系上の位置付け								040501
政策体系	総合計画の施策名	0106	高齢者福祉の推進			所属課		高齢福祉課
	政策名	01	子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			課長名		
	施策名	06	高齢者福祉の推進			グループ		高齢福祉グループ
	手段名	02	②高齢者福祉サービスの充実			担当者名		
財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	03	01	02	02	00	老人福祉総務事業	
法令根拠							単年度繰返し (令和 3 年度～)	
							期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
高齢者の閉じこもりを防止し地域との繋がりをつくることで、高齢者を住民同士が見守る体制を整備すること及び買物が不便又は困難な方を支援することを目的として、株式会社カスミと連携して移動販売を実施する。 なお、販売用車両は市が購入し株式会社カスミへ貸与する方法をとっており、令和3年11月から令和5年3月までの期間、実証実験として実施する。	①月ごとの実績報告の確認 ②株式会社カスミとの打合せ ③運行スケジュールの検討

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
①月ごとの実績報告の確認 ②株式会社カスミとの打合せ ③運行スケジュールの検討	運行日数	日	0.00	122.00	312.00	310.00	310.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内の高齢者	65歳以上の人口	人	0.00	13,763.00	13,557.00	13,607.00	13,660.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
食料品や日用品を市内で購入する市民の割合を増やす。	食料品や日用品を市内で購入する市民の割合	%	0.00	89.60	91.00	92.00	93.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費						
	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	4,883	0	
事業費計 (A)	千円	0	4,883	0			
	正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	1.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)			
	17 備品購入費	4,883					
		合計	4,883				合計

事務事業名	買物支援事業	事務事業No.	10602001050	所属課	高齢福祉課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 「食料品等の移動販売車が自宅の近くへ来たら、利用しようと思いませんか」との質問に「利用しようと思う」と回答した市内のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の割合は61%であり、半数以上が移動販売の運行を望んでいることから事業を開始することとなった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 移動販売の運行に対する意見として、「現状において停留場所が設定されていない地区にも来てほしい」という意見が挙がっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	買物弱者のために移動販売を実施することは、高齢者の自立した生活を確保することになるため、高齢福祉の推進に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	買物が不便又は困難な高齢者等を支援する事業は、市しか提供できないため、妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	販売実績等を考慮し、停留地区及び販売ルートの見直しを行うことで向上余地がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	買物が不便又は困難な高齢者等を支援する事業がほかにはないため、廃止や休止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	買物が不便又は困難な高齢者等を支援する類似事業がないため、統廃合や連携はできない。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費は移動販売用車両の購入費であり、その他の事業費はすべて事業者負担であるため、これ以上の削減余地はない。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	対象が市内の買物が不便又は困難な高齢者等であり偏っておらず、公平、公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	停留場所によって売上金額や客数にはらつきがあるため、停留場所を含めた運行スケジュールの変更について検討していく必要がある。																						
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 運行可能最大日数は週6日で、全行政地区に対応できないことが課題である。今後は、実証実験後の結果を待って対応していきたい。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成 果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成 果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>